

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北陸)	良くなる	一般小売店〔鮮魚〕 (従業員)	・北陸新幹線が3月14日に開業し石川県への入込客の大幅な増加が見込め、売上の拡大はかなり期待できる。間違いなく忙しくなり、ホテルなどの予約はほとんど満室である。弊社では注文を消化できるよう人員増を考えている。
		高級レストラン(スタッフ)	・3か月後は北陸新幹線開業があり、東北新幹線や九州新幹線を上回る12両編成と速達タイプ10往復で運行されるので、地域全体にとって大きな期待が持てる。
やや良くなる		一般小売店〔事務用品〕(店員)	・年度末に向け売上増加が見込める中、消費税率の10%への引上げが延期になったので、単純に期待できる。
		一般小売店〔書籍〕(従業員)	・今月の動向がこのまま続きそうと思える。
		百貨店(営業担当)	・北陸新幹線開業とともに観光客が増え、来客数増加に向けて品ぞろえの改善にも取り組んでいるので、若干の売上増加になると思われる。
		百貨店(営業担当)	・前年は4月の消費税増税前の駆け込み需要で数字を大きく伸ばしたこともあり、その影響を今年は大きく受けるのではないかと予想する。しかし、北陸新幹線が開通した後は観光客が増加すると予想されるので、景気は良くなるのではないかと期待する声が多い。
		衣料品専門店(経営者)	・今のままではどうにもこうにもならない。しかし、物価が高騰している折、ガソリンや灯油の価格が下がっていることは、見通しの明るさにかなり影響が出てくると期待している。また、新年に向けて賃金上昇に希望が膨らんでほしい。
		乗用車販売店(経営者)	・春先の車検到来数も多くなるので、販売、修理とも良くなると思う。
		乗用車販売店(従業員)	・一部店舗もリニューアルし、雪のシーズンが終われば来客数が伸びることを期待している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・北陸新幹線開業が間近になり、ダイヤも発表された。宿泊中心に売上の回復が見込める。
		都市型ホテル(役員)	・北陸新幹線の開業及び公的施設のリニューアルオープンにより、宿泊、レストランまたコンベンション関係の増加が見込まれる。
		通信会社(役員)	・総選挙後の新たな経済政策の発動等、家計の収入増に向けた動きを期待しており、これに合わせた商品、サービス契約数の増加を期待している。
		通信会社(営業担当)	・新学年を迎える学生の購入が活発になるため、現状維持以上になると思われる。
		通信会社(役員)	・2～3か月先は例年繁忙期になるので現在の状況が継続すれば良くなるが、競合大手の動き次第では競争が激化し、厳しい状況も予想される。
		美容室(経営者)	・都市部の好景気が地方にもそろそろ波及してくる気配を感じる。
		住宅販売会社(従業員)	・来年3月の北陸新幹線開業に向けて、客に活気ができることを期待したい。
		変わらない	
一般小売店〔精肉〕(店長)	・今月は景気が悪かったが、天候が大きな原因だったと思う。来月からはそれほど天候の影響を受けないと思うので、景気がどうなるか分からない。		
スーパー(店長)	・年末の買物を見ていても高額品にはなかなか手が届いていないように思う。不必要な買物はせず、適量の買物で済ませているように思う。		
スーパー(総務担当)	・北陸新幹線の開通に期待感はあるが、スーパーマーケットについてはすぐに効果が現れるとは思えず、横ばい状況と思われる。		
コンビニ(経営者)	・コーヒーを買う客は増えているようだが、それ以外の目的の客は当店には寄らずに、ドラッグストアやディスカウントショップに行っているのが多く見受けられる。コンビニは単価が他の業態と比べて安くはないため、厳しい傾向がこのまま続くと思われる。		
コンビニ(経営者)	・今月、競合していた別のチェーン店が1店舗クローズしたが、近隣に等間隔に並んでいたコンビニの中では当店が一番遠いので、その近くの別の店舗に流れて恩恵はあまりないだろうと予測している。悪くなる要素もないが、数字がアップすることはないだろう。		

コンビニ（店舗管理）	・原油安の効果も3か月先には現れない。年明けから、各食品メーカーの値上げの影響を受け、エネルギー費用が抑えられる好材料を相殺している。								
衣料品専門店（総括）	・中小企業の給与が上がりそうにないので、そのあたりの客層をターゲットとしている会社の業績回復は難しいのではないかと。								
家電量販店（店長）	・来客数が減っているため、売上が増えていくとは考えにくい。								
家電量販店（店長）	・この時期でも支払方法が現金若しくはクレジットカード翌月一括払いが多く、分割又はボーナス払いなどのクレジット支払が継続的に減少している。先の収入を見越しての購入がなく、現状の予算で必要な物のみを買い求める客が多い。								
乗用車販売店（役員）	・雪のシーズンでもあり、車販売の最需要期でもあるので市場全体は膨らむが、受注、販売両面から見ても景気が良くなるような気配はないと思う。								
住関連専門店（店員）	・直近3か月の動きをみても、来客数、販売数量ともに昨年の8割程度と非常に落ち込みが大きい。昨年は消費税増税による特殊需要があったにせよ、一昨年と比較しても回復には至っておらず、厳しい状況が続いている。消費者の節約志向、買い控えの傾向はますます強くなり、これを打破する道を模索しているが大きな効果はみられず、今後もこの状況が続くと予想される。								
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・今年の2～3月は消費税増税前の駆け込み需要があったが、来年はそれがないので前年を上回することは難しい。北陸エリアは新幹線開業の効果を短期的な売上にどう結びつけるが問われると思われる。								
一般レストラン（店長）	・新幹線効果なども期待したが、どこまで影響があるかわからない。								
一般レストラン（統括）	・外食産業にとってプラス材料がほとんどない。人手不足問題、原料費高騰への対応など、守りを固めて昨年並みを維持することが精一杯である。北陸新幹線開業で春先は昨年並みを維持できると予測するが、この効果が外食チェーンでは長く続かないものと見ている。								
観光型旅館（経営者）	・1月以降、予約状況は例年並みである。3月の北陸新幹線開通の影響も現在はまだ出てきてはいない。								
観光型旅館（スタッフ）	・予約保有は27年1月を除いて3月までは91%から94%で推移している。北陸新幹線開業後の4月は148%となっている。								
旅行代理店（従業員）	・収入が現実には増えない以上、支出に回ることはいし、回せない。気だけではいつまでももたないことにいずれ気が付くし、もう気が付いている人もいる。								
旅行代理店（従業員）	・年末の選挙で出控えがあったことに加え、投票率の低下など無関心による結果のみの批判の声を多く感じる。								
タクシー運転手	・客の言葉だが、忘年会だけはにぎやかにやっていこうと話していたようだ。								
通信会社（職員）	・企業倒産数が前年比減少と聞こえているものの、当社は販売先が一般顧客であり、地方や中小企業までの好転には至っていないと感じる。								
通信会社（営業担当）	・新規契約数は少し増加しているが、解約数も増加しているため大きな伸びがなく、ほとんど変化を感じられない。								
通信会社（店舗統括）	・1月に関しては変わる要素が考えられず、2～3月でどうなるかわからない。								
競輪場（職員）	・現状より良くなる要素が見当たらない。								
住宅販売会社（従業員）	・消費税の増税延期に合わせてか、客の動きも全く慌てる様子がなく、じっくりと考える人が増えている。新商品にも興味を見せる人は非常に少ない。								
やや悪くなる	<table border="1"> <tr> <td>商店街（代表者）</td> <td>・大手、中小を問わず、例年より冬物のセールを前倒しで行う傾向にあるが、今までの落ち込みを取り戻すほどの活気もなく、今後が非常に心配だ。</td> </tr> <tr> <td>百貨店（売場主任）</td> <td>・少し単価の高い商品の動向が不調であり、客単価、商品単価両面でダウン傾向がある。</td> </tr> <tr> <td>百貨店（営業担当）</td> <td>・年明けから、食品を中心とした毎日に必要な物の値上げが各種いろいろ想定される。生活防衛のため財布のひもはますます固くなるし、不要不急の支出は抑えられていくのではないかと考えられる。食品は毎日消費するので、こういったものがまずは第一に優先され、消費全体が飛躍的に上がるというのはまだまだ先になるという気がする。</td> </tr> <tr> <td>スーパー（総務担当）</td> <td>・今後2～3か月後には、昨年にあった消費税増税前の駆け込み需要の反動で、売上高は前年を下回ると推測される。</td> </tr> </table>	商店街（代表者）	・大手、中小を問わず、例年より冬物のセールを前倒しで行う傾向にあるが、今までの落ち込みを取り戻すほどの活気もなく、今後が非常に心配だ。	百貨店（売場主任）	・少し単価の高い商品の動向が不調であり、客単価、商品単価両面でダウン傾向がある。	百貨店（営業担当）	・年明けから、食品を中心とした毎日に必要な物の値上げが各種いろいろ想定される。生活防衛のため財布のひもはますます固くなるし、不要不急の支出は抑えられていくのではないかと考えられる。食品は毎日消費するので、こういったものがまずは第一に優先され、消費全体が飛躍的に上がるというのはまだまだ先になるという気がする。	スーパー（総務担当）	・今後2～3か月後には、昨年にあった消費税増税前の駆け込み需要の反動で、売上高は前年を下回ると推測される。
商店街（代表者）	・大手、中小を問わず、例年より冬物のセールを前倒しで行う傾向にあるが、今までの落ち込みを取り戻すほどの活気もなく、今後が非常に心配だ。								
百貨店（売場主任）	・少し単価の高い商品の動向が不調であり、客単価、商品単価両面でダウン傾向がある。								
百貨店（営業担当）	・年明けから、食品を中心とした毎日に必要な物の値上げが各種いろいろ想定される。生活防衛のため財布のひもはますます固くなるし、不要不急の支出は抑えられていくのではないかと考えられる。食品は毎日消費するので、こういったものがまずは第一に優先され、消費全体が飛躍的に上がるというのはまだまだ先になるという気がする。								
スーパー（総務担当）	・今後2～3か月後には、昨年にあった消費税増税前の駆け込み需要の反動で、売上高は前年を下回ると推測される。								

		コンビニ（店長）	・今の状況で悪くなくても良くなることはないと感じている。政府の政策、北陸新幹線などいろいろポジティブに報道されているが、少なくとも私の周りの来店客や近隣企業などでその恩恵にあずかれる方は少なく、給与が上がらない、ボーナスが出ないなどの声が常連客との日々の会話で聞かれる。実際、少なくとも私の店舗の周りには競合店など売上悪化の外的要因はないが、数年前より前年比を上回った月が全くない。先の見えない不況だと実感している。
		衣料品専門店（経営者）	・今後も売上が好転するとは思わず、人手不足も重なって悪循環から抜け出せるか不安を感じている。
		自動車備品販売店（従業員）	・昨年は消費税増税前の駆け込み需要で春タイヤの販売が大きく前倒しされたが、今年は期待できる要素もなく、苦戦が予想される。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	・1～3月にかけて、消費税増税実績分の売上が厳しいため、対策企画数を増やして落ち込み対応を検討中である。
		スナック（経営者）	・天候にも左右されるが、中小企業の経営者からは景気が悪いと聞くことが多く、やはり期待できない。
		タクシー運転手	・今月はとても良かったため、新年会などで人出があっても、雪が降り積雪があっても、やや悪くなると思う。
		テーマパーク（職員）	・向こう3か月の前年同日比の予約状況を見ると、国内の団体旅行が減少しており、個人客も12月までの流れから減少傾向にあるため、海外の客は増加するものの、全体としてはややマイナスに推移すると思われる。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の延期により、需要増が見込めない。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の延期決定と衆議院選挙もあって、今後の動向は全く読めない。エコポイントなどの優遇措置の時期、規模などにもよるが、もし実施されたとして効果が出てくるのは来春以降になると思われる。現時点では客足が逆に遅くなるということが十分予想でき、当面の業績には結びつかない。
	悪くなる	スーパー（統括）	・昨年は消費税増税で特需があったが、今年はそれが無い。また、円安等により食品を含めた物の値上げが騒がれており、現在でも客の購買意欲や来店頻度等が落ちているが、今後もっと落ちるであろうとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・個人消費の伸びも期待できず、好転する要因がない。
企業 動向 関連  (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		繊維工業（経営者）	・選挙も終わり、消費税増税の見送りや地方創生も含めた地方、中小企業に向けた経済対策等で国内景気の回復が期待される。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合がやや良い。
		建設業（経営者）	・3月工期の年度末工事の完成に向けて、手持ち工事が多い分だけ大変多忙になる。不採算工事も多くなり、収益面でも悪くなさそうである。
		輸送業（配車担当）	・軽油価格が下がり運送コストが減少することで利益が少し出てくるようになる。
		通信業（営業担当）	・ソリューション営業で価格を抑えつつ受注増となれば良い。
		金融業（融資担当）	・繁華街の人出も戻っているように感じる。3月の北陸新幹線開業も近づいている。メンタル的なものの改善は見込まれる。
		司法書士	・相続時精算課税制度に孫への贈与も加わるが、これに関心を持っていた依頼人も多く、相続税対策としても若年者への財産の移動が進む。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・為替の動きが心配である。
		化学工業（総務担当）	・今後の受注は、横ばい状況である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安状況で現状の輸出中心とした受注が好調に続いていくと考える。
		精密機械器具製造業（経営者）	・円安の影響で材料費が幾らか上がってきているのに対し、国内市場については今のところ回復の兆しをあまり感じることができない。
		建設業（総務担当）	・年度末を控え、一部に受注量の確保に向かう業者もあり、受注価格競争の動向は不透明になることが予想される。
		輸送業（配車担当）	・運送業界全体で、乗務員不足により受けた仕事が一時的にない状況が見られる。
		金融業（融資担当）	・地域的には、北陸新幹線開通でマインド的に改善してくれると思うが、全国的には本質的な経済改革が行われる雰囲気ではないことから、大きな期待はできないのではと考える。
		不動産業（経営者）	・物件がなかなか動いていない。2～3か月先もそんなに活発には動かないだろうという意見が多い。

	やや悪くなる	食料品製造業（役員）	・今後も為替が円安が進むと推測される以上、原材料の6～7割を輸入品で占めているので収益性が悪くなる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・設備投資が継続することはなく、来年以降下降ぎみになると予想している。
	悪くなる	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・12月も前年売上比マイナスとなり、これで7か月連続で前年割れを更新している状況である。チラシのサイズダウン傾向も今後継続され、売上増加の兆しは見えてこない。
雇用 関連 (北陸)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（役員）	・来年3月には北陸新幹線が金沢まで開業する。
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・北陸新幹線開通による雇用の増加が期待できる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年末年始の求人広告特集を企画したところ、昨年より多くの申込があった。
		職業安定所（職員）	・北陸新幹線の開業に対する期待感がいろいろな企業から聞こえている。
		職業安定所（職員）	・北陸新幹線開業、大手企業の進出、設備投資等好材料がある。
		民間職業紹介機関（経営者）	・北陸新幹線の開業に関連する雇用が増える可能性が大きいと思われる。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・企業側より明るい兆しの話が聞かない。人材要求の意識はない。
		人材派遣会社（社員）	・あらゆる職種で人材の不足感はしばらく続くものと思われる。
		職業安定所（職員）	・良くなっている事業所の声とは裏腹に、悪くなっている、先行きが不安という事業所の声もよく聞かれる。
		やや悪くなる	-
	悪くなる	-	-